

带状疱疹ワクチン接種について

带状疱疹とは

水ぶくれを伴う発疹が、身体の片側に帯状に現れます。強い痛みを伴うことが多く、症状は3～4週間程続きます。多くは腕や胸、背中に症状が出ますが、顔や目、頭などに現れることもあります。



带状疱疹の原因

幼い時などに感染する水ぼうそうのウイルス(水痘・带状疱疹ウイルス)が原因で起こります。水ぼうそうが治った後も、ウイルスは体内の神経節に潜伏し、加齢やストレス等で免疫機能が低下すると、ウイルスが再活性化し、带状疱疹を発症します。日本人の成人の90%以上がこのウイルスを持っていると考えられており、80歳までに約3人に1人が带状疱疹を発症すると言われています。



ご案内

基礎疾患(糖尿病、高血圧症など)がある方は、带状疱疹になるリスクが高まる可能性があります。また、免疫力が低下している場合、まれに症状が全身に広まるようにでることがあります。带状疱疹にならないために、体調管理の心掛けも必要ですが、**50歳を過ぎたら予防接種が可能です**。自治体によっては、**費用補助**もあります。

※「費用補助」に関しては、各自治体のホームページ等でご確認、又は、お問い合わせください。

★予防接種をご希望の方は、当院にご相談ください。

☎ 06-6581-2881 (代表)



公益社団法人 日本海員救済会
大阪救済会病院